

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



2019年11月14日

上場会社名 田中建設工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1450 URL http://www.tanaken-1982.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 采澤 和義
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 小池 正晴 (TEL) 03(3433)6401
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,213	△11.3	342	△35.8	367	△35.4	224	△37.8
2019年3月期第2四半期	3,622	—	533	—	568	—	361	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	103.40		—					
2019年3月期第2四半期	183.09		—					

(注) 潜在株式調整後1株あたり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,718	3,626	76.9
2019年3月期	4,495	3,581	79.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,626百万円 2019年3月期 3,581百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 70円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	12.3	840	7.5	865	8.0	555	5.4	255.18

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、第2四半期(累計)の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	2,174,900株	2019年3月期	2,174,900株
2020年3月期2Q	一株	2019年3月期	一株
2020年3月期2Q	2,174,900株	2019年3月期2Q	1,973,400株

(注) 当社は2018年8月29日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行株式数、期中株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあつたての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

- ・決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米国を主体とする貿易摩擦や欧州各国政権の不安定化、中国を始めとするアジア新興国の景気下振れ懸念などにより、先行きの不透明な状態が続いております。

当社の属する建設業界においては、建設技能労働者の需給環境は依然として逼迫しており労務単価の上昇など、引き続き施工コスト面での不安は残るものの、民間建設投資・公共投資ともに堅調に推移し、安定した受注環境が続いております。

当社は今後の更なる業容の拡大・次ステージへのステップアップを図るべく2016年11月より2020年3月期を最終期とする中期計画“TANAKEN2020”をスタートさせました。営業面では、従来の主要顧客であるデベロッパー・ゼネコン・一般顧客からの受注拡大はもとより、あらたに再開発プロジェクト・官庁工事受注への取り組み強化を図ってまいりました。特に再開発プロジェクトに関しては、毎期受注実績をあげる事が出来、新たな主要営業ソースとなってまいりました。

当第2四半期累計期間における売上高は3,213,227千円（前年同期比11.3%減）、営業利益は342,173千円（前年同期比35.8%減）、経常利益は367,315千円（前年同期比35.4%減）、四半期純利益は224,894千円（前年同期比37.8%減）となりました。これは当初見込んでいた工事の受注時期の遅延、及び着工時期の遅れ等により、売上高が前期実績比減少となり、それに伴い利益も前期比減少となったものです。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べ234,311千円増加し、3,617,131千円となりました。主な要因は、現金及び預金が181,633千円及び電子記録債権が101,252千円減少した一方で、完成工事未収入金が588,582千円増加したこと等によるものです。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べ11,282千円減少し、1,101,388千円となりました。主な要因は、投資有価証券が10,317千円減少したこと等によるものです。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べ174,910千円増加し、1,015,538千円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が50,472千円、未払費用が10,795千円及び預り金が10,451千円減少した一方で、工事未払金が84,734千円、未成工事受入金が41,193千円、未払法人税等が129,927千円及び未払消費税等が19,302千円増加したこと等によるものです。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べ2,371千円増加し、76,038千円となりました。主な要因は、役員退職慰労引当金が2,847千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ45,726千円増加し、3,626,943千円となりました。主な要因は、利益剰余金が50,902千円増加した一方で、有価証券評価差額金が5,175千円減少したことによるものです。なお、利益剰余金の増加50,902千円は、第2四半期純利益の計上による増加224,894千円並びに配当金の支払による減少173,992千円によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前事業年度末に比べ181,636千円減少し、780,466千円(前年同期は1,204,202千円)となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増減は、47,076千円増加(前年同期は8,877千円増加)となりました。増加要因の主なものは、仕入債務の増加84,734千円、未成工事受入金の増加41,193千円、未払消費税等の増加19,302千円及び税引前四半期純利益367,837千円等によるものです。また減少要因は、売上債権の増加471,567千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増減は、3,655千円増加(前年同期は34,612千円増加)となりました。増加要因の主なものは、保険解約による収入19,130千円、投資有価証券の売却による収入10,522千円によるものです。また減少要因は、有形固定資産の取得による支出17,179千円、投資有価証券の取得による支出7,142千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増減は、232,367千円減少(前年同期は88,974千円増加)となりました。増加要因の主なものは、短期借入れによる収入500,000千円によるものです。また減少要因の主なものは、短期借入金の返済による支出500,000千円、配当金の支払い173,895千円、長期借入金の返済による支出50,472千円及び社債の償還による支出8,000千円等によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月15日付で公表しました当期の業績予想から変更ありません。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,142,672	961,038
受取手形	87,197	71,435
電子記録債権	424,454	323,202
完成工事未収入金	1,498,356	2,086,938
未成工事支出金	43,456	41,069
前払費用	12,732	20,573
その他	173,949	112,872
流動資産合計	3,382,819	3,617,131
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	301,456	295,309
構築物（純額）	6,433	6,051
車両運搬具（純額）	2,030	1,455
工具、器具及び備品（純額）	21,798	18,327
土地	595,054	595,054
建設仮勘定	—	1,722
有形固定資産合計	926,773	917,919
無形固定資産		
ソフトウェア	1,560	1,792
その他	434	434
無形固定資産合計	1,994	2,226
投資その他の資産		
投資有価証券	143,719	133,402
繰延税金資産	6,274	22,449
その他	35,558	27,039
貸倒引当金	△1,650	△1,650
投資その他の資産合計	183,902	181,242
固定資産合計	1,112,670	1,101,388
繰延資産		
社債発行費	22	—
繰延資産合計	22	—
資産合計	4,495,512	4,718,519

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	565,990	650,724
1年内償還予定の社債	8,000	—
1年内返済予定の長期借入金	72,876	22,404
未払費用	54,336	43,540
未払法人税等	36,597	166,524
未払消費税等	—	19,302
未成工事受入金	27,843	69,037
預り金	17,236	6,784
賞与引当金	20,157	19,450
その他	37,591	17,769
流動負債合計	840,628	1,015,538
固定負債		
退職給付引当金	39,132	38,656
役員退職慰労引当金	25,854	28,701
その他	8,680	8,680
固定負債合計	73,667	76,038
負債合計	914,295	1,091,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,156	297,156
資本剰余金	249,156	249,156
利益剰余金	2,993,966	3,044,868
株主資本合計	3,540,278	3,591,180
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,938	35,762
評価・換算差額等合計	40,938	35,762
純資産合計	3,581,216	3,626,943
負債純資産合計	4,495,512	4,718,519

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,622,891	3,213,227
売上原価	2,820,081	2,575,360
売上総利益	802,809	637,867
販売費及び一般管理費	269,730	295,693
営業利益	533,079	342,173
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,273	5,993
受取賃貸料	10,599	10,348
保険解約返戻金	22,805	8,954
その他	2,551	1,494
営業外収益合計	39,229	26,791
営業外費用		
支払利息	1,495	544
社債発行費償却	644	22
賃貸収入原価	1,101	1,078
その他	134	4
営業外費用合計	3,376	1,650
経常利益	568,932	367,315
特別利益		
投資有価証券売却益	—	522
特別利益合計	—	522
特別損失		
固定資産除却損	91	0
特別損失合計	91	0
税引前四半期純利益	568,841	367,837
法人税、住民税及び事業税	190,536	156,834
法人税等調整額	16,998	△13,891
法人税等合計	207,534	142,943
四半期純利益	361,306	224,894

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	568,841	367,837
減価償却費	11,448	12,039
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,501	△706
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,437	2,847
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△92	△476
受取利息及び受取配当金	△3,273	△5,993
支払利息	1,495	544
固定資産除売却損益(△は益)	91	0
保険解約返戻金	△22,805	△8,954
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△522
売上債権の増減額(△は増加)	25,647	△471,567
未成工事支出金の増減額(△は増加)	59,531	2,387
仕入債務の増減額(△は減少)	△173,561	84,734
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△125,225	41,193
未払消費税等の増減額(△は減少)	△58,965	19,302
その他	79,457	△304
小計	368,653	42,361
利息及び配当金の受取額	3,273	5,993
利息の支払額	△1,933	△548
法人税等の支払額	△361,115	△729
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,877	47,076
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,514	△50,519
定期預金の払戻による収入	50,512	50,516
有形固定資産の取得による支出	△13,781	△17,179
無形固定資産の取得による支出	△403	—
投資有価証券の取得による支出	△5,985	△7,142
投資有価証券の売却による収入	—	10,522
短期貸付けによる支出	△2,300	—
短期貸付金の回収による収入	100	—
保険積立金の払戻による収入	10,115	—
保険解約による収入	48,140	19,130
その他	△1,270	△1,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,612	3,655
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	500,000
短期借入金の返済による支出	—	△500,000
長期借入金の返済による支出	△75,798	△50,472
社債の償還による支出	△35,000	△8,000
配当金の支払額	△250,227	△173,895
財務活動によるキャッシュ・フロー	88,974	△232,367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	132,464	△181,636
現金及び現金同等物の期首残高	1,071,737	962,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,204,202	780,466

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。